

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社コミヤマ					
代表者名	氏名	小宮山 完治	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県小諸市大字市950番地					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	24 金属製品製造業				
主たる事業の概要	建設機械、産業車輛、自動車用部品等の鍛造・熱処理・機械加工					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	3,677	3,567	3,437	4,809	5,352
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	7,737	7,504	6,911	9,172	9,924
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	0
自動車の台数	台	5		5	5	5
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	97				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度
------	------	----

計画期間	2020	年度～	2022	年度
------	------	-----	------	----

報告対象年度	2022	年度
--------	------	----

3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	長野県小諸市大字市950番地 株式会社コミヤマ 総務部 電話0267-22-2311 午前8時～午後5時
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号
(総括票)

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

環境改善委員会にて、活動目標を定め実行する。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制

社長
↓
温暖化対策責任者(総務部)
↓
温暖化対策担当者(営業部)
↓
計画書提出責任者(総務部)
↓
工場

5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

環境改善委員会：4回/年
環境管理委員会：2回/年

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	7,737	t-CO ₂	生産トン数	1,399.00	単位	10t
2019年度	調整後排出量	7,737	t-CO ₂	基準原単位	5.53	t-CO ₂ /	10t
目標年度	目標排出量	7,504	t-CO ₂	目標原単位	5.36	t-CO ₂ /	10t
2022年度	目標削減率	3.01	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	弊社社長方針に基づき年1%（3年で3%）の排出量削減を目標とする。						
第一年度	排出量	6,911	t-CO ₂	生産トン数	1,278.00	単位	10t
	削減率	10.67	%	原単位	5.41	t-CO ₂ /	10t
2020年度	調整後排出量	6,911	t-CO ₂	原単位削減率	2.16	%	
	削減率	10.67	%				
排出量等の増減理由	コロナウィルスの世界的流行の影響を受け、上期は2019年に引き続き受注が大幅に減少したが、下期は受注が回復し、徐々に生産効率を上げることが出来たため、原単位が良化した。						
第二年度	排出量	9,172	t-CO ₂	生産トン数	1,689.00	単位	10t
	削減率	-18.55	%	原単位	5.43	t-CO ₂ /	10t
2021年度	調整後排出量	9,172	t-CO ₂	原単位削減率	1.80	%	
	削減率	-18.55	%				
排出量等の増減理由	受注好調により稼働時間が増えたため、排出量が大幅に増加した。本来であれば生産量が増えると生産効率が上がり燃費が良くなるが、熱源を重油から都市ガスに変更したことで加熱条件の設定が上手くできず、燃費が大幅に悪くなり原単位としては悪化してしまった。						
第三年度	排出量	9,924	t-CO ₂	生産トン数	1,889.40	単位	10t
	削減率	-28.27	t-CO ₂	原単位	5.25	t-CO ₂ /	10t
2022年度	調整後排出量	8,174	t-CO ₂	原単位削減率	5.06	%	
	削減率	-5.65	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	2021年度より引き続き受注が好調だったことで生産効率が上がったことに加え、熱源の変更により悪化した燃費についてもわずかに改善が進んだため、原単位は良化した。						

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2019 年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2020 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2021 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	97	t-CO ₂			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	370799	加工設備更新(2台)による電力使用量削減	2021~2022	5	2022	24
2	エネ起	329999	鍛造用加熱炉熱源変更による燃費の向上(重油→都市ガス)①	2021	222	2021	127
3	エネ起	329999	熱処理炉熱源変更による燃費の向上(重油→都市ガス)	2022	65	2022	33
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光発電	kw	150	0	150	150	150

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	1	7,737	1	6,911	1	9,172	1	9,924
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満								
合計	1	7,737	1	6,911	1	9,172	1	9,924

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	0
CH ₄	0	0	0	0
N ₂ O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF ₆	0	0	0	0
NF ₃	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)	1	1	1	1
合計	1	1	1	1
自動車総数	5	5	5	5
次世代車導入割合	20	20	20	20

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	なし
自転車利用促進	なし
来客者の交通対策	なし
物流の合理化	2トン車や4トン車などを極力使用せず、荷量がまとまる時には10トン車等の大型車両で輸送回数を減らすようにしている。

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		
	実施内容		実施年度
<input checked="" type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		2021
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		2004
	名称	ISO14001	
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input type="checkbox"/> その他			

1.5 自由記載欄